



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
3-9	健康診査事業	健康増進課

事業シート4

課コード: 001215000
 担当組織: 健康増進課

作成日: 平成23年5月30日
 責任者: 伊藤はるみ

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード	10	07	0198	01
				019804

款	項	目	事項
予算コード	16	01	24
		25	

款	項	目	事項

事業名: 健康診査事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
		930,820	899,287		△ 31,533		2.2
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	20,546	846,572			380	495	31,294

◆事業の目的

がん、骨量減少者、歯周病の検診実施により、疾病の早期発見・治療を行い、もって市民の健康の保持・向上を図ることを目的としている。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- 市民の健康保持のため、がん検診等を実施し、受診率向上のために市民に対し周知啓発を行なう。
- ・がん検診(結核・肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がん)、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周病検診を実施
 - ・一定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の配布及び検診手帳の交付を行なうことにより子宮頸がん、乳がんの知識の普及と検診受診率の向上を図る
 - ・健康手帳の交付、がん検診受診券及び検診申込書(集団)の送付、受診啓発チラシの配布等により受診啓発を図る
 - ・受診率向上のためと民間事業所と連携し周知啓発を行う

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

- 市民の健康保持のため、がん検診等を実施し、受診率向上のために市民に対し周知啓発を行った。
- ・がん検診(結核・肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がん)、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周病検診を実施
 - ・一定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の配布及び検診手帳の交付
 - ・健康手帳の交付、がん検診受診券及び検診申込書(集団)の送付、受診啓発チラシの配布等による受診啓発
 - ・平成17年、浜松市が合併し12通りの検診内容があった。
平成22年度、全市統一された。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 57 年	年		健康増進法					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	重点戦略	○				○		
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け				○			

(単位:千円)		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	930,820	899,287	899,287	899,287	899,287	3,597,148
	決算	892,182					0
財源内訳	国・県支出金	79,190	91,443	91,443	91,443	91,443	365,772
	市債		0				0
	その他		0				0
	一般財源	812,992	807,844	807,844	807,844	807,844	3,231,376
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		24,040	24,040	24,040	24,040	24,040	96,160
内訳	人工(正規)	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	—
	人工(非常勤)	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		916,222	923,327	923,327	923,327	923,327	3,693,308

成果指標1 結核・肺がん検診受診率		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトプット(活動指標)						
	目標	%	50	50	50	50	50
	実績		31.6				

成果指標2 子宮がん検診		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトプット(活動指標)						
	目標	%	50	50	50	50	50
	実績		20.1				

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

結核・肺がん検診 68,572人 (28.7%)
胃がん検診 25,922人 (9.9%)
子宮がん検診 29,927人 (18.7%)
乳がん検診 17,117人 (18.5%)
大腸がん検診 57,799人 (24.1%)
前立腺がん検診 17,401人 (21.8%)
骨粗鬆症検診 3,790人 (7.8%)
(平成21年度受診者実績)

平成22年度については平成23年6月上旬に確定

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

がん等の早期発見・早期治療により、市民の生命を守り医療費の削減にも繋がる。

(2) 実施主体: 市

(理由)

健康増進法に基づき実施するものであり、検診の受診機会のない者に対し、検診を提供する必要がある。

(3) 選択と集中 現状

(理由)

健康増進法に準じて実施する必要があるため。

(4) 改善: その他改善

(理由)

市民の健康増進のため検診を提供する必要があるため。
受診率向上のため民間事業所と連携し周知啓発に努めた。

今後の方向性 現状

検診は、がんの早期発見・早期治療により市民の健康を守るために重要なものであり、健康増進法に基づき検診事業を継続し、受診率向上を図り多くの市民が受診するよう周知啓発を行なう。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

・胃がん検診において従来のX線撮影検査に加え、疾患発見の精度向上のため内視鏡検査を導入する。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

・精密検査の受診勧奨は市としての義務であり、市民の健康を守るために重要であるため、平成25年度までに未受診者対策を検討する。
・受診率、市民の利便性の向上を目指して、がん検診、特定健診受診券の同時発行予定(平成24年度)

補足シート4-①

	款	項	目	事項
予算コード	16	01	24	25

事業名：健康手帳交付

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	1,566	1,455	△ 111					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	0
	1,455							

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- ・健康増進法 第九条、第十七条第1項に基づく事業
- ・目的:がん検診、特定健診、保健指導の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資すること
- ・対象:市内に居住する40歳以上の者
- ・内容:各区健康づくり課、サービスセンター等にて希望者に交付

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

対象:市内に居住する40歳以上の者
 内容:各区健康づくり課、サービスセンター等にて希望者に交付
 実績:H20度 5,898冊(うち新規交付数5,645冊)
 H21度 2,892冊(うち新規交付数2,363冊)

*平成19年度まで、70歳以上の対象者へ老人医療受給者証と合わせて郵送していたが、特定健診開始以後は希望者への交付としている。

補足シート4-②

	款	項	目	事項
予算コード	16	01	24	25

事業名：がん検診事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	678,211	633,678	△ 44,533			○		
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	542
	4,546	628,590						

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

結核・肺がん(胸部X線、喀痰検査)
 胃がん(X線もしくは内視鏡)
 子宮頸がん
 乳がん
 大腸がん
 前立腺がん

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

H21年度受診者数

結核・肺がん	68,572人(28.7%)
胃がん検診	25,922人(9.9%)
子宮がん検診	29,927人(18.7%)
乳がん検診	17,117人(18.5%)
大腸がん検診	57,799人(24.1%)
前立腺がん検診	17,401人(21.8%)
骨粗しょう症検診	3,790人(7.8%)

論点シート

事業番号	3 - 9	事業名	健康診査事業
部局	健康医療部	所管課	健康増進課
H23 予算	899,287 千円	所管課	現状
H22 予算	930,820 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の対象者は誰か、受診率が低迷している原因は何か、受診率の向上という目標に対する手段は効果的か ・ これまでに健康手帳はどのくらい交付したのか、今後も交付が必要か ・ がん検診受診券及び検診申込書（集団）を送付すれば受診率は向上するとしてもコストは妥当か ・ 骨粗しょう症検査は医療費縮減につながるか 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の受診率向上策の費用対効果を検証し、改善策を検討すべき。 			

◇健康診査受診者

検診項目	平成 21 年度	平成 20 年度
結核・肺がん検診	68,572 人	66,014 人
胃がん検診	25,922 人	26,207 人
子宮がん検診	29,927 人	22,139 人
乳がん検診	17,117 人	10,973 人
大腸がん検診	57,799 人	56,832 人
前立腺がん検診	17,401 人	16,832 人
B型肝炎検査	556 人	171 人
C型肝炎検査	568 人	86 人
骨粗鬆症検診	3,790 人	54,87 人

◇健康手帳交付

区 分	平成 21 年度	平成 20 年度
新規交付数	2,363 冊	5,685 冊
再交付数	529 冊	253 冊
計	2,892 冊	5,893 冊

◇健康診査周知

- ・ 3月末頃、対象者に対して「がん検診受診券」ハガキを送付
- ・ 4/5 広報はままつに併せて「浜松市健康診査のお知らせ」を配布
- ・ 集団検診実施地域においては「集団検診のお知らせ」を 4/5 各世帯へ配布

区	平成 22 年度配布枚数
西区(雄踏・舞阪)	9,564
北区(細江・引佐・三ヶ日)	16,893
天竜区	13,249
計	39,706